

8月3日は、水俣環境アカデミアにて講義とプレゼンテーションを行った。蟹江憲史教授によるSDGsのレクチャーの後、ASEAN6カ国（マレーシア、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、タイ、フィリピン）が遠隔授業同様の目標2、3、6の各国の状況を発表した。全て英語で行ったため、高校生にとっては完全に理解することが難しい様子であったが、途上国が抱えている問題（貧困、飢餓など）を学ぶことができ、その比較で水俣市の特徴を認識した。



図2 アイスブレーキング(1)



図3 アイスブレーキング(2)